

姫路仏舎利塔（兵庫県姫路市）

見学記

2020.11.19



左手の一際大きい塔が中央太塔/南側の駐車場から見たところ

昭和 34 年（1959 年）に、六つの小塔が取り付く中央大塔（仏舎利塔）・その四隅の四つの隅塔（納骨堂）・香炉堂を大岡實建築研究所が設計している



名古屋霊苑にある案内板より



手前には噴水地が広がる/[video](#)



香炉堂前から見たところ/[video](#)



右手から見たところ/二重基壇となっており、基壇の壁面にはモザイク状のデザインが施されている/[video](#)



正面から見た香炉堂/屋根は馬蹄形の独特なデザインとなっている



これが香炉



左側面から見たところ



左手から見たところ/中央大塔の周りに六つの小塔が取り付く/[video](#)



一段目の基壇に上がって、香炉堂の屋根を見たところ



アップで見たところ



二段目の基壇に上がって小塔の一つを見たところ/[video](#)



これが中央大塔の下部壁面



これは中央大塔のドームの上部を見たところ



その上部の露盤・伏鉢・請花



更に上部の宝輪・水煙・竜車・宝珠



こちらは中央大塔の四隅に配置された四つの隅塔の一つ、東南塔

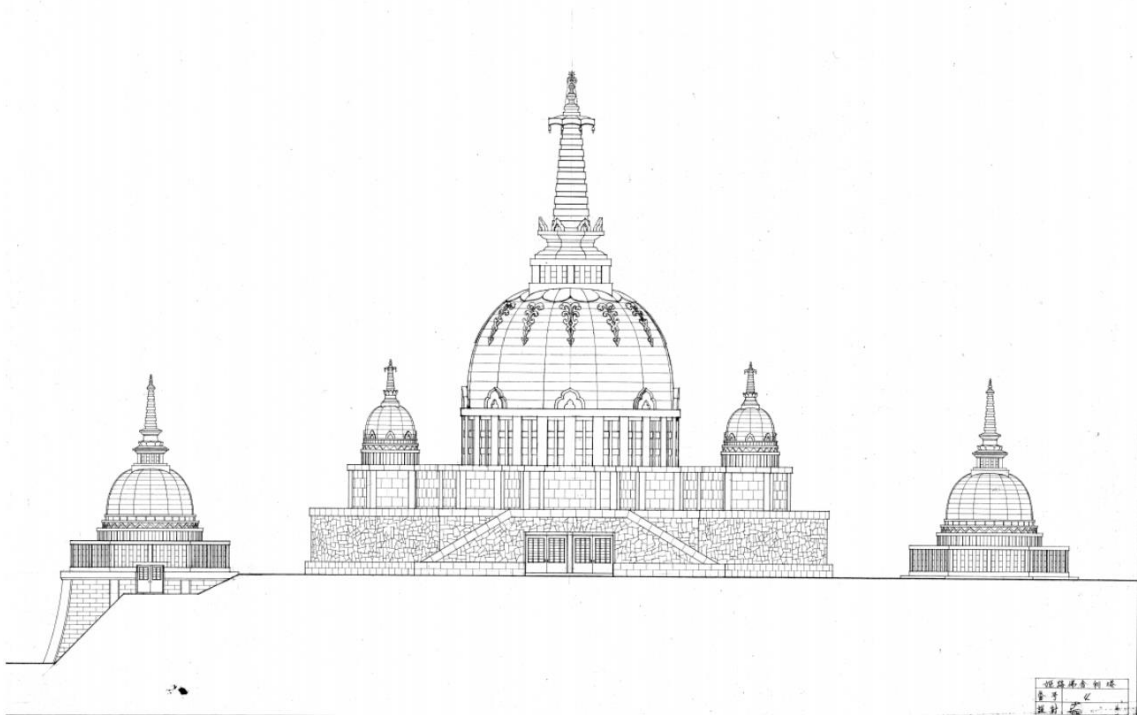


こちらは同じく西北塔

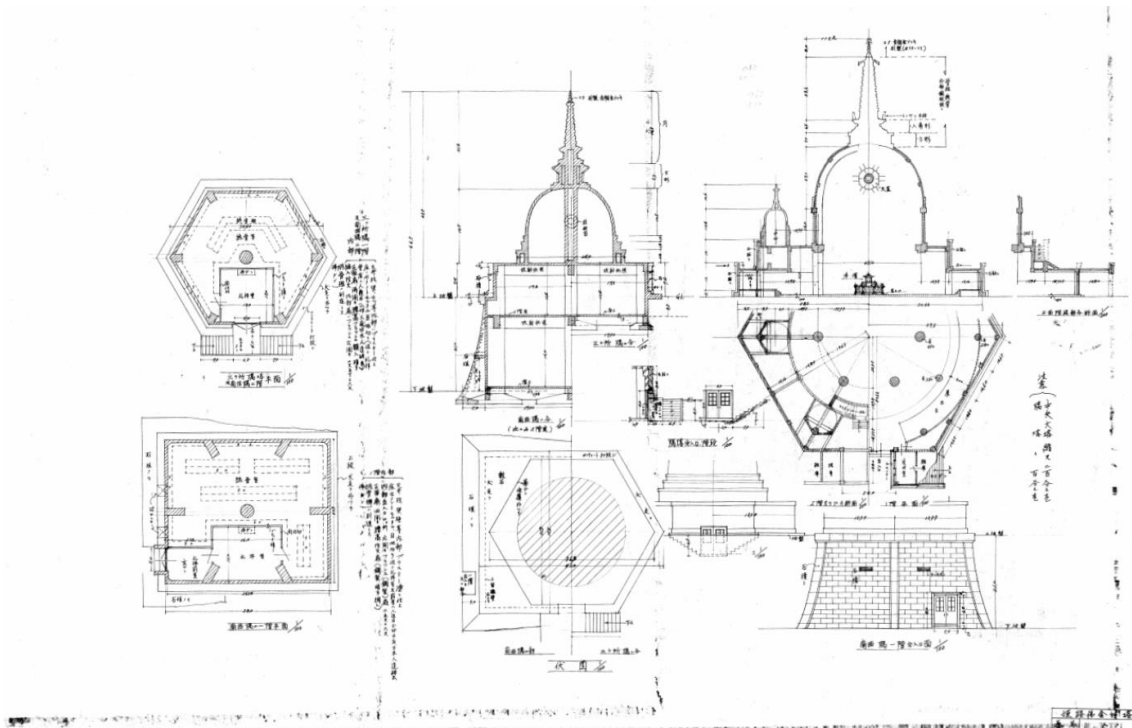


その西北側から見たところ/[video](#)

迎路.名古屋山.佛舍利塔 観望



立面図



平面図・断面図・詳細図

仏舎利塔縦覧案内

この名古屋山霊苑の中央にそびえる連立式建物は「仏舎利塔」であります。

塔内には人類永遠の平和を祈念してインドの故ネール首相から贈られた仏舎利（釈尊の分骨）を納めた金色の厨子が安置されております。ドームの上部には鳳凰と雲中観音の優美な壁画を仰ぐことができ、中層部には釈迦三尊を正面にして十大弟子の立像と釈迦一代記をあらわした壁画が、つらなり下層部には聖徳太子を中心に歴史上著名な六人の高僧の座像と日光月光両菩薩の立像を安置し、壮厳にして佳麗を極めています。

建築造形美術の粋を尽したこの仏舎利塔は、貴重な文化財としてまた観光資源として脚光を浴びております。

名古屋山霊苑管理事務所

それでは仏舎利塔ドームの内部に入ってみよう



香炉堂の先に入入口がある/ここで縦覧料を払う



塔内仏舎利殿の十二神将の立ち並ぶなかに、インドの故ネール首相から贈られた仏舎利が安置されているようだ



その上部には、大きな光背を負ったお釈迦さまの坐像



更にその上部には、大きな天蓋がドームの中心に下がっている



塔内には釈迦一代記全十景が描かれ、日本仏教各宗派の開祖の坐像などが並んでいる/[video](#)

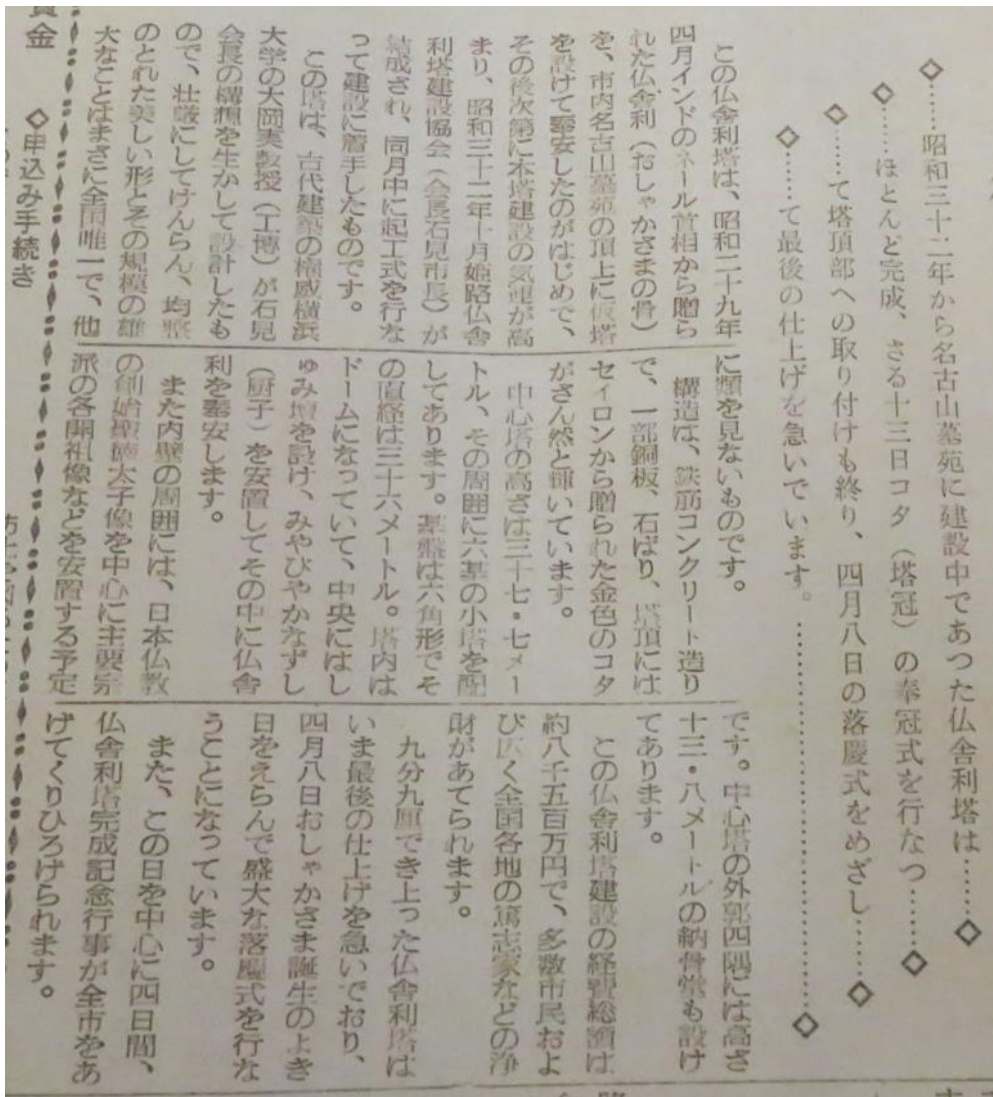
仏舎利 ぶつしゃり

釈尊の遺骨を「仏舎利」といふ。
 釈尊入滅のとき、その遺徳を慕う
 八カ国の国王が遺骨を求めてきたの
 で、地元の人たちは仏骨を八等分し
 て与えた。
 それぞれの国では塔をつくって仏
 骨を奉安したが、一八九八年
 ネパール王国タライ地方にある
 迦毘羅城カピラ附近の古墳からその一つ
 が発見された。

この発見された仏舎利の一部を、
 一九五四年（昭和二十九年）人類永遠の平安
 を祈念してインドの故ネール首相か
 ら贈られ、この六角の厨子に安置してある。



塔内に掲示されていた昭和35年3月25日付けの「広報ひめじ」



大岡實が石見会長の構想を生かして設計したものとの記述が見える

なお、姫路仏舎利塔の詳細については [姫路仏舎利塔 大岡實建築研究所 \(ohoka-inst.com\)](http://ohoka-inst.com) を参照してください。



左上の緑地が姫路仏舎利塔が所在する名古山霊園/右手の緑地は姫路城/下は新幹線姫路駅